



自由民主党

ふなだ

船田はじめ

昭和28年11月22日(72歳)

●決意を新たに

日本は過去30年近く経済の低迷に悩まされましたが、適切な経済・財政運営により、ようやく脱却しようとしています。しかしながら、さらに強い経済と安定した生活を進めるためには、中小企業や農業分野でのDX化、科学技術の推進、賃金のアップ、環境保全、世界の中の日本の存在を高める努力が不可欠です。そのために、もの言う政治を断行し、これらの政策を必ず実行して参ります。

未来につなぐ政治を実現

- ◆教育無償化や探究学習を普及し、次世代人材を育成すること。
- ◆首都機能を分散し、地方創生や災害に強い国をつくること。
- ◆地球環境を守るため、再生可能エネルギーの活用や、食品ロス削減に取り組むこと。
- ◆憲法を改正して、自衛隊をきちんと位置付けることを目指します。

いまを大切に政治を実現

- ◆企業の供給力を高める設備投資や、適切な金利引上げなどの物価高対策。
- ◆若者の給与や、医療、介護、保育など公定価格をアップする。
- ◆農業・中小企業にAI技術を導入し、生産性を高めていきます。

地域創生を確実に推進

◆宇都宮や上三川の課題として、LRT西側延伸、文化と知の創造拠点、県立病院の再編高度化を推進する。

■船田元プロフィール

昭和 28年	宇都宮市に生まれる
昭和 54年	衆議院第35回総選挙に最年少の25歳で初当選以来14期当選
昭和 58年	慶應義塾大学大学院修士社会学研究科修了
昭和 59年	自民党青年局長
昭和 60年	総務政務次官就任
昭和 62年	文部政務次官就任
平成 2年	自民党外交部長就任
平成 4年	国務大臣経済企画庁長官就任(39歳最年少)
平成 11年	自民党財務委員長
平成 15年	衆議院憲法調査会筆頭幹事
平成 16年	衆議院イラク人道復興支援活動特別委員会委員長
平成 17年	自民党憲法調査会長
平成 19年	自民党科学技術創造立国推進調査会長
平成 21年	衆議院消費者問題に関する特別委員会委員長
平成 25年	自民党消費者問題調査会会長(現在に至る) 弾劾裁判所裁判長
平成 26年	自民党憲法改正推進本部長
平成 29年	自民党衆議院議員総会長(現在に至る)
平成 30年	自民党憲法改正推進本部顧問(現在に至る)
令和 元年	自民党科学技術イノベーション戦略調査会顧問(現在に至る) 弾劾裁判所裁判長就任(8回目)



HP



X



YouTube



Facebook